

今週のお祈り 大齋節前主日特禱

神よ、あなたは、そのひとり子の受難の前に、聖なる山の上でみ子の栄光を現されました。どうかわたしたちが、信仰によってみ顔の光を仰ぎ見、自分の十字架を負う力を強められ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられますように、主イエス・キリストによってお祈りをいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

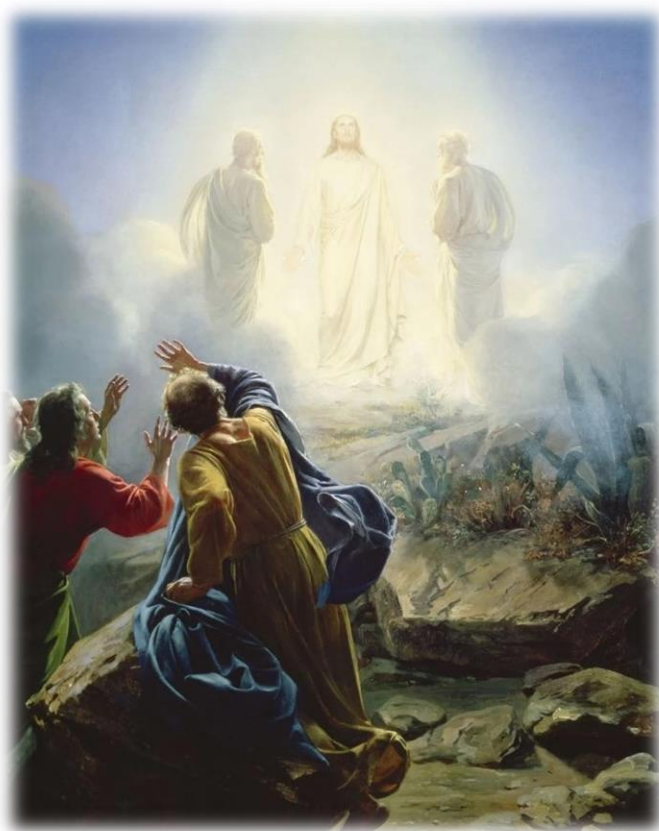
号外239

発行日
2025年
3月2日

今週水曜日(3/5)から大齋節です。「灰の水曜日」には額に十字架の印を付けていただく礼拝があります。イースター(今年は4/20)を迎える準備のとき、いつもよりたくさんお祈りしたり聖書を読んで過ごしましょう。

今週の聖書 ルカによる福音書 9:28-36

28 この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブを連れて、祈るために山に登られた。29 祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、衣は白く光り輝いた。30 見ると、二人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。31 二人は栄光に包まれて現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最後のことに話していた。32 ペトロと仲間は、眠りかけていたが、目を覚ますと、イエスの栄光と、一緒に立っている二人の人が見えた。33 この二人がイエスから離れようとしたとき、ペトロがイエスに言った。「先生、私たちがここに居るのは、素晴らしいことです。幕屋を三つ建



てましよう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのために。」ペトロは、自分でも何を言っているか、分からなかったのである。34 ペトロがこう言っていると、雲が現れ、彼らを覆った。彼らが雲に包まれたので、弟子たちは恐れた。35 すると、雲の中から、「これは私の子、私の選んだ者。これに聞け」と言う声がした。36 この声がしたとき、イエスだけがそこに居られた。弟子たちは沈黙を守り、見たことを当時、誰にも話さなかった。

聖書からのメッセージ 司祭 橋本 克也

とても大切な「大齋節」を今週は迎えます。「どうしてこんななんだろう」「これからどうなるんだろう」「本当にこれでいいんだろうか」など、心配や不安を考えることがあるでしょう。聖書は、十字架のイエス様がそのような不安や痛み、悲しみを抱くひとと必ず一緒にいて助けてくださっていることを教えています。イエス様の十字架は、神の愛であり、わたしたちの救いです。イエス様の声を新しい気持ちで聞きましょう。きっと、「大丈夫、安心しなさい」と神の救いの声も聞こえてくるでしょう。